

ダムの底に沈む沢 2019

成瀬川桑木沢

遠い地の原生流域、成瀬川源流域。またまたやってきました、癒しの森を求めて。昨年の後半トレースしようと思張りルート栃ヶ森山から桑原岳の内側をトレースしようという周遊計画。しかしいろいろとありまして、またしても、つづくなり。

7月13日（土）：小雨から曇り

やや晴れ間がのぞく、高い森に。今年もやってきました。原生流域の師であり、はじめて桑木沢～小出川をおとずれた時のリーダーと、成瀬川に思いをもつ、ルアー初心者と共に。



ダム工事の規模がさらにすごくなっている。コンクリート工場ができ、昨年よりも多くの働く車たちがいる。熊注意の看板はなくなっていた。

小雨ぱらつくなか、ダム見晴台の東屋で雨待ちとし、のんびりと出発。昨年のも復路で使った夢仙人橋から沢へと藪とザレで北ノ俣へと降り立つ。この景色がなんともいい。この日はぬけるような空はないが、もくもくと広がる森から生まれるサラサラと透明感のある流れ。残念なことにダム準備のためなのか、不釣り合い

な赤布とボトル、マーキングなどが増えている。合ノ又沢にかかる壊れた吊り橋をすぎる旅のスタート地点で、最初のトラブルが。原生流域師の高級沢靴が剥がれた。スパイクを履いて押さえれば歩けるようだが、山越えはあきらめ、唐松沢研究会に切り替える。

桑木沢のゴルジュを越え、川原歩きをし、荒倉沢へはいるとすぐに冷気が立ち込めた屈曲に大きなSBがかかり、乗り越えてみるがさらに続くSBは不安定で、皆と協議の上、桑木沢へのアプローチに切り替える。フレッシュなウルイをいただき、桑木沢へともどる。



【日程】

2019年7月13日（土）
～7月15日（月）

【メンバー】

田辺（L）、田村、飯島、
会外

【グレード】1級

【地形図】

真湯温泉、子安温泉

【記】田辺



のんびりと釣り上がり、SBの残骸には春の恵みがたっぷり残っている。そこで、先ほどからの足跡の主登場。今年は妖精でも仙人でもなく、地元の釣り師さん。唐松沢のSBは手前の尾根から簡単に巻けると聞き込み。赤ミズ

を採っている師をみない、秋田名物赤ミズをいただく。

日が差し、一瞬にして沢に華やきもどる。昨年の瀟洒なトロ淵を越えるとSBとゴルジュが続き、地形図上の快適そうな幕場をめざすが、時間も押し、さすがに不安になってくる。ちょっとした川原もあるのだが、この沢で泊まるには適さない。夢の幕場ではなくては、またSBとなったが、その先に快適なブナ森の平場ができて今宵の宿とする。森の恵みで口福な夜を過ごし、入門者にも満足してもらえたかな。



7月14日(日) : 曇り

ブナの森に光がさし、ミソサザイの声で朝がやって来る。原生流域師の古傷が痛むようなので、この森に痛みは似合わない。桑木沢のすばらしい幕場を求め、釣り下る。

7月15日(月) : 晴れ

史上最高の幕場に朝がやってきた。森に輝きをあたえる抜けるような青空。こんどは秋に再訪したい。残された時間は2年…。

飯島の感想

実は昨年に怪我をしてから成瀬川にドライブに来たことがありました。当時はまた沢登りができるのか不安でしたが、いつかこのあたりの沢に入りたいと思っていました。今回お誘いいただいて、思ったより早く成瀬川に入ることができ、ぶな森と清流を楽しむことができました。(二日目の幕場は極上でしたね) 桑ノ木沢から唐松沢への遡下降を楽しみにしていましたが、また雪溪がなくなった時期に行けたらなと思います。



【行程】

- 7/13 夢仙人大橋展望台～北ノ俣沢～桑木沢～唐松沢～桑木沢 C1
- 7/14 C1～桑木沢～C2
- 7/15 C2～北ノ俣沢～夢仙人大橋～ 展望台